

発行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜間 6-3601
印刷 松浦印刷所



3月の人口の動き

出生	男 40	女 28	計 68
死亡	18	17	35
転入	73	61	134
転出	73	81	154
世帯数	9,898		
人口	44,569		
男	21,402	女	23,167

健全財政へ足がため

新年度の重点施策しめす

議会 第93回定例市議会は3月11日から30日までの20日間開かれ、昭和42年度予算など30議案が慎重に審議されました。

定例市議会の冒頭に寺島市長はことしの重点施策としてつぎの点をあげて財政再建への決意を明らかにしました。

1. 市財政の再建

市は合併以来、市民福祉の向上と市発展のために諸施策を積極的に進めてきました。このため経費が累増し、昭和41年度末には市債の現償額は6億8千230万円に達し、このほか許可外債2億5千181万円、その他負債見込み1億円となり市財政事情はますます深刻となつてきました。一方今日では新しい高度の行政が求められていますが現在の財政ではそれをじゅうぶん満たすことは極めて困難でありますので今後は事務合理化の徹底をはかり管理的経費を極力節減し長期展望に立って財政再建計画を立て一日も早く健全財政の確保に渾身の努力をいたしたい。

2. 災害復旧

40・9風水害よりはやく3年目を迎えますが、復旧は一刻の猶予も許されない急務でありますので、全機能を集めて実施してきました。その結果農林7億8千万円土木4億3千万円、学校6千万円、し尿処理1千万円などの災害復旧費約14億円のうち84.4%を完成し、あとは農地施設で6千482万円、林道で1千925万円、土木関係で1億2千351万6千円を残すだけとなりました。ことしも災害復旧を優先し、市の総力をあげて一日も早く完成したい。

3. 福井国体の成功を

福井国体を成功させるには何よりもまず市民の皆さんに国体のもつ大きな意義

をよく理解していただくとともに、市民運動を活発に展開し、市民総参加のもとにこの成功に協力していただきたいのであります。

ことしは国体準備最後の年でありますのでソフトボール、相撲会場、山岳コースの整備、それに国体実行委員会の内容充実に万全を期したい。

4. 明るく豊かな町づくり

福井国体を契機に市民の健康保持と体力づくりに力を入れ、社会教育とくに各種市民運動を活発に展開して、明るい情操豊かな、そして自主的な市民性の育成をめざして努力したいと思ひます。

新常任委員決まる

◎は委員長、○は副委員長
(総務委員会)

◎推井清男、○木村正一、高田新左エ門角本守、北山作右エ門、猪野毛一雄、林達也、金森幸蔵

(教育民生委員会)

◎斎藤秀雄、○土谷好文、平間源治、南正雄、出村吉吉、真柄重郎、土屋暁、四方憲二

(産業経済委員会)

◎丸山惣市、○杉川栄、塗茂光夫、宮村光男、林保信、野尻源、中山利夫

(建設委員会)

◎石田政治、○米村喜六、石田善徳、山岸充、奥村忠光、山本武、安間政雄

(議会運営委員会)

◎中山利夫、○林保信、角本守、宮村光男、斎藤秀雄、山岸充、四方憲二

(監査委員)

岸本達也、奥村忠光

△福井県都市計画地方審議会委員
山本武、四方憲二、中山利夫、金森幸蔵、高田新左エ門

白は知事、桃色は県議

投票日は4月15日

選挙

県知事と県議会議員の選挙は4月15日午前7時から県下いっせいに行なわれます。

投票用紙は知事が白い紙、県議会議員が桃色の紙です。投票の順序は知事(白)が先に、県議会議員(桃)が後になりますので間違いのないよう注意してください。なお開票は当日の午後8時から市役所大会議室で行なわれます。

○県議会議員立会演説会日程

4月7日有終南小学校 4月8日下庄小学校
4月9日上庄小学校 4月10日富田小学校
時間はいずれも午後7時から

7投票所は繰り上げ投票

選挙は4月15日に行なわれますが、第11投票所など7カ所では投票時間を午後4時までに繰り上げ投票することになりました。該当地区の有権者の皆さんは間

一票でママは政治のお洗濯



違わないよう投票してください。
繰り上げされる投票所は次のとおり。
第11投票所 (若生子小学校)
第12投票所 (宝慶寺小学校)
第16投票所 (五箇公民館)
第17投票所 (下打波小学校)
第18投票所 (打波小学校)
第22投票所 (六呂師小学校)
第26投票所 (嵐)

一 般 特 別 総 額 12 億 1 万 円

〔予算〕 昭和42年度の市の予算は一般会計で9億5千373万6千円、特別会計で2億4千627万4千円となっており、総額は12億1万円となり前年より2億2千166万2千円減となっています。

歳入のあらまし

歳入のうち一般財源は5億748万6千円、特定財源が4億4千625万円でその概要は
市税 2億9千907万6千円

これは歳入予算の31.4%で前年に比べ1千万円多く、内訳は市民税8千365万3千円、固定資産税1億3千703万4千円、軽自動車税834万9千円、たばこ消費税4千250万円、電気ガス税2千220万円、都市計画税492万2千円、その他となっています。

地方交付税 1億8千338万円

国から交付されるもので、前年より2千838万円多く見込んでいます。

分担金および負担金 653万3千円

これは農道や農業施設の新設改良の分担金です。

使用料および手数料 2千28万4千円

市民会館、保育所、市営住宅、幼稚園戸籍、諸証明、予防接種、じんあい、し尿などの手数料です。

国庫支出金 1億8千978万6千円

歳出のあらまし

議会費 1千782万8千円

総務費 1億649万1千円

おもな内容は庁舎管理費、事務委託料裁判所敷地の交換経費、知事、県議会議員選挙費などです。

民生費 7千939万7千円

生活保護家庭の扶助費3千738万6千円、老人福祉費1千66万5千円、児童福祉費1千866万円がおもなもので前年に比べ912万3千円の増ですが、これは生活保護基準と老人福祉費の引き上げが見込まれたほか、保育園の保育内容の充実費を計上したものです。

衛生費 6千564万9千円

前年より3千632万7千円多くなっていますが、これは大野保健所建設費の立替元利金の支払い3千226万7千円、簡易水道、食肉処理場特別会計への繰り出しとして489万円、また結核および伝染病の予防対策費、町を美しくする運動の推進費などを計上しています。

労働費 469万5千円

社会福祉、生活保護、災害復旧など各種事業に対するの負担金1億6千86万円、街路事業、教育関係、その他の補助金2千647万1千円、委託金245万5千円です。

県支出金 1億305万2千円

災害復旧、児童福祉費の県負担金8千192万3千円、農免道路の補助金1千657万5千円、県知事、県議会議員選挙費などの事務委託金455万4千円です。

財産収入 264万1千円

不用品の売払い代、農場生産物が主となっています。

寄附金 31万円

これは社会教育費の寄附がおもです。

繰越金 1万円

諸収入 8千156万4千円

これまで市が農業近代化、産業近代化資金、保健所建設資金として貸し付けた金の戻し入れ7千954万7千円、印紙売りさばき手数料111万円がおもです。

市債 6千710万円

その内訳は市民税減税補填債2千450万円、退職手当1千200万円、災害復旧費1千570万円、国体施設整備費690万円、都市計画道路起債300万円、造林債500万円です。

失業対策費で、前年より35万4千円多くなっています。

農林業費 9千429万円

農免道路、農業構造改善事業、農業用排水路の改良、積寒事業の補助など土地改良事業費に2千418万円、農業近代化資金貸付および利子補給3千184万2千円、米づくり運動、畜産の振興に102万円、地籍調査費240万1千円を計上しています

林業については1千266万5千円を計上これらは特殊林産物の振興、市行造林の拡大、下刈り、雪起こしなどの費用です

商工費 2千516万7千円

ことしは既存産業の育成と中小企業近代化のために1千929万6千円、国体競技に関する観光開発に231万1千円などを計上してあります。ことしから新規貸付分については預託制度を廃止して利子補給の引き上げを行います。

土木費 7千40万5千円

前年より61万4千円多く、おもなものは道路、橋梁の維持、修繕および改良に3千965万3千円、都市計画事業費に2千357万円、越前大野城設計費100万円で

す。

消防費 2千593万8千円

小型動力ポンプ、市街地の打込み消火栓の設置、消防無線、ホースの購入などを含め2千593万8千円を計上。

教育費 1億1千479万5千円

学校備品の整備、給食室の改造、校庭整備、講堂、校舎の修繕、生徒の各種扶助などを主に6千322万4千円。社会教育費3千979万1千円、これらは明るい町づくりのための推進、公民館施設の充実、青少年の愛護補導、国体をひかえての体育振興費などです。

災害復旧費 2億759万3千円

農地施設災害復旧費6千482万円、林道災害復旧費1千925万7千円、土木災害復旧費1億2千351万6千円です。

公債費 1億3千152万3千円

昭和42年度末の現債見込み額は6億8千230万円となっています。これは償還計画にもとずき支払われるもので、その他一時借入れ金の利子支払いなど1億3千152万3千円です。

国体準備費 896万4千円

前年より665万2千円多くなっていますこれは福井国体のソフトボール、相撲会場の整備と山岳コースの整備、それに実行委員会の経費ですが、8月に開かれる全国高校相撲大会の経費も含まれています。

予備費 100万円

特別会計予算額

国民健康保険会計	1億7千486万3千円
五箇診療所会計	144万7千円
簡易水道事業会計	430万7千円
食肉処理場会計	370万円
公団分収造林事業会計	172万7千円
駅東区画整理事業会計	1千482万円
南郊区画整理事業会計	4千541万円

緑の羽根募金にご協力ください

3月20日～4月30日

国体協力緑化運動

4月16日は「家庭の日」

- 家族みんなで話しあい、楽しみあい、力を出しあいましょう。
- あなたの家庭にふさわしい行事をくふうして実施しましょう。

4月のテーマ

家族みんなで野外に出かけ自然に親しもう。

観覧席などつくる

市営相撲競技場

建設

福井国体と全国高校総合体育大会を控え、市は相撲競技場の施設づくりに400万円を投じ4月初め着手、6月末完成の予定です。工事のあらまは4千名を収容できる観客席土俵づくり、国旗掲揚台、選手控室、シャワー室、速報板などです。

また会場のまわりに植えられる花はサルビア、アゲラタム、百日草、カンナなど6種。インターハイには会場が花で埋まるよう計画されています。



「母子福祉会」と改称

豊かな生活の話し合い

福祉

第11回大野市母子福祉会が3月6日午前10時から市役所で約170名が参加して盛大に行なわれました。

この大会は今日の母子家庭の生活はきびしい点が多いのでこのような問題をいろいろ検討し、私たちの生活を一日も早く豊かに明るくしようというものです。

この日は森永富田小学校長の講演を聞いたあと大会スローガンを採択し、ひきつづき大野市未亡人連合会を大野市母子福祉会と改称することを満場一致で決議しました。

善意銀行だより

金銭—阪谷地区婦人会代表原愛子 3千500円、金森隆成(本町)500円、中荒井一丁目一同代表安岡守光2千420円、梅田きよ(大野署経由)5千010円、匿名(中竜)2万円、匿名(麻生島)衣類5点 700円、五番下子供会代表野波昭之2千円。

心配ごと相談室の変更

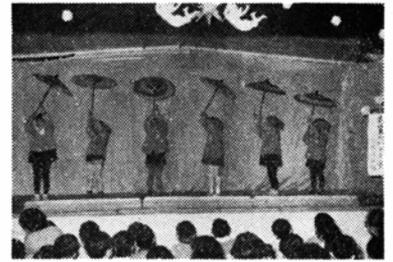
4月1日から 心配ごと相談室が消防署2階に変わりました。

生活上のあらゆる心配ごとについて相談を受け、適切な助言指導を行なっています。どのようなやみごとでも結構です。お気軽においでください。

大野藩の財政窮迫と庶民の生活

大野藩の領地は4万石(3万9千320石)これは田と畑と屋敷の3つの地価を、田の産米量を基準にして、換算測定した見込み額である。280年前の田と畑を半々とする、百姓の年間の勤労によって、田では平均約2万5千石の米を収穫し、畑からは、キビ・アワ・ヒエ・麦・大豆・くわ・麻・綿などを収穫する。畑作のそれを米に換算すると、ほぼ1万5千石となる。

百姓の藩(殿様)に納める年貢は、平均45%とすると1万8千石ほどとなる。



(元気いっぱいでおゆうぎをする園児)

保育園の生活発表

市立保育園の生活発表会が2月終りから3月初めにかけて保育園ごとに行なわれました。

大野保育園では3月12日午前9時30分から父兄多数を迎え、つばめ組の遊戯「はなだより」から始められました。園児は日頃先生からおそわった歌や遊戯、それに劇などを、会場からおくられる拍手のなかで元気いっぱい演じ、午後2時ごろ盛況のうちに幕をとしました。

大野の歴史 15

山手・川役・冥加銀などの雑税を米に換算すると約6百石。これは物納ではなく銀納(かねで納める)である。

領内の百姓は、米の白飯をたべるのは正月と盆の4日間で、360日は麦飯・ひえ飯・大根飯・カユ・ゾロ・イリコを食べねば、年貢を差引いて年間の主食がもたぬのである。

大野藩は貧乏で、200年間いつも火の車で財政窮乏したが

百姓も町民も裕福ではなかった。時々儉約令を出し生活の切り詰めと勤儉努力を命令したが、生産力には限度があったから、藩の財政も庶民の台所もいつも暗かった。



植えよう育てよう一人一鉢 “花いっぱい運動”の展開

福井国体はいよいよ明年にせまり、「花いっぱい運動」も今春から強力に展開されています。

このほど大分県から「友情の花種子」が大野市に送られてきました。この種はマリゴールド(二四センチ約二一〇アール、サルビヤ(二四センチ約一〇アール、コスモス(一六センチ約五〇アール分です。これは実践されるグループや個人に近く各公民館を通じてお届けしますので、これを機会に大いにこの運動を充実したいものです。花いっぱい運動は市や一人だけの力ではどうすることもできません。市民ひとりひとりがその手で花を植え、花を育ててくださることが大切なのです。

七間商店街では商友会(二十三名)が中心になって花いっぱい運動を進めることになり、すでにフラワーボックス七五個を購入して「花の七間通り」をつくろうと張り切っています。植え込み、管理などは地区子ども会も参加することのこと。こんな運動を望んでいます。

市の花いっぱい運動部会ですすでにどんな花を、どこに、どのように植えるかの写真真ができています。具体的な実施については皆さんのご協力をいただきましたのでよろしくお願ひします。

なお花いっぱい運動のグループづくり技術指導など全般については市役所農務課または農業改良普及所、各公民館にお尋ねください。

子どもを守ろう

交通

子どもを交通事故から守る県民運動が4月1日から30日まで行なわれます。例年春の行楽シーズンには子どもの交通事故が増加する傾向にあります。これらの事故は自動車の直前横断、あるいは運転者のちょっとした不注意によるもの、また保護者の不注意などが原因です。

○子どもに正しい交通ルールをおぼえさせましょう。
○幼児のひとり歩きは危険。必ず右手で幼児の手を引き右側を歩きましょう。
○道路では絶対にふざけたり遊んだりさせないようにしましょう。
○新入学(園)のこどもさんは集団で登下

校するようにしましょう。
○学校、幼稚園付近の道路では子どもが急に飛び出すことがあります。徐行してじゅうぶん注意しましょう。

校するようにしましょう。

○学校、幼稚園付近の道路では子どもが急に飛び出すことがあります。徐行してじゅうぶん注意しましょう。

お知らせ

旧金し勲章年金受給者に一時金を支給されます

が支給されます

(1)旧金し勲章年金受給者に関する特別措置法の施行により、次の各号のいずれにも該当する方に一時金10万円が支給されます。

イ、日清戦争から満洲事変までの武功により金し勲章を授与されたことにより昭和20年末まで金し勲章年金を支給されていた者。但し支那事変の武功により金し勲章を授与された者は除かれます。

ロ、昭和38年4月1日現在に日本の国籍を有するもの。

ハ、昭和21年以降昭和38年3月31日までの間に3年をこえる懲役もしくは禁錮以上の刑に処せられたことのない者。

(2)前項の規定による一時金の請求は現住地の市長を経由して内閣総理大臣に対して行うことになっていますが、市役

所福祉事務所まで受け付けておりますから、詳しいことは福祉事務所へお尋ねください。

(3)第1項の規定に該当する者が一時金を請求しないで死亡しているときは、その者の相続人が本人の名で一時金を請求することができます。その手続きは前項と同じです。

◆大野市民合唱団員募集 大野市に在住する15才以上の男女の方。5月に当市で音楽会を催し、6月には県の合唱祭が予定されています。申し込みは大野公民館へどうぞ。

第1期腸パラチフス予防接種

(4月) (1回 2回 3回)

下庄、乾園公民館 4日 11日 18日

1時~2時、乾園は1時40分まで

阪谷、富田公民館 5日 12日 19日

1時~2時

小山、上庄公民館 6日 13日 20日

1時~1時40分、上庄は2時まで

大野公民館 7日 14日 21日

1時~2時

五箇地区 7日 14日 21日

1時~2時30分

○対象 昭和38年1月1日より同年12月31日までの出生者

○手数料 1回 20円

○この予防接種は3回受けなければ効果がありません。最寄りの会場で受けてください。

胃 検 診 日 程

4月25日 城町、明倫、元町、泉町

4月26日 高砂町、糸魚町、日吉町、錦町、有明、篠座

4月27日 幸町、水落、本町、大和、月美、清竜、城町

4月28日 春日

○時間はいずれも午前9時から11時まで

○ところ 大野保健所前

○当日副票(記入し注意を厳守のこと)と受診料500円が必要です。

賑わった「雪まつり」

スキーシーズンの最後を飾る六呂師高原雪まつりは3月4日、5日の両日開かれました。あいにく雨が降る悪天候となりましたが、それでも約100人の観衆が集まり、たいまつ滑降、営火、ナイトスキー、奥越太鼓、エレキ大会、底ぬけ脱線ゲームなど各種の催しがにぎやかに行なわれました。

(写真は人気を呼んだ曲太鼓)



大そうじの時期

春の大掃除をする季節になりました。

室内と同じく火気を取り扱うかまど付近や煙突の修理もあわせて行ないましょう
△畳は裏がわをよく乾かし、へやは床に新聞紙をしき、DDT、BHCをまく
△便所のまわり、下水路はよく掃除する
△しけているところは乾いた土をかぶせる。

△家のまわりをかたづける。

春の大掃除をする季節になりました。室内と同じく火気を取り扱うかまど付近や煙突の修理もあわせて行ないましょう
△畳は裏がわをよく乾かし、へやは床に新聞紙をしき、DDT、BHCをまく
△便所のまわり、下水路はよく掃除する
△しけているところは乾いた土をかぶせる。
△家のまわりをかたづける。



四月一日にたわいもないうそをいって人をだます西洋の風習、またはそれによってだまされる人を俗に四月ばかというが、そんなつもりで次に書くのではない。▼四月は希望にかがやく月だ
新入学児童、生徒たちの美しいひとみ。各職場では新メンバーでのスタート。結婚式の最盛期。▼市民会館に打診してみると、去年の六月から今年の三月までに会館結婚式を挙げたカップルは五十組もあつた由。四月に入ってもすでに十四組もの申込みがあるそうで、館長はじめ職員一同が嬉しい悲鳴をあげている。▼市民会館の結婚式のよきはまず第一に、新郎新婦が厳肅なふん開気の中で、近親者一同が立会いの上挙式ができることだ
びょうぶのカゲにかくれて契りの杯をすませる旧来の風習に比べて、何と明るいことではないか。第二は誓いのことばを二人で宣誓するが、これは将来へのよき戒めともなり、夫婦げんかが起きた時の特効薬ともなる。第三、旧習では杯ごとの後は新夫のいる所がない。イロリの端でせいぜい酒のカン番がオチだが、ここではあくまで新郎新婦を中心にひろう宴が開かれることだ。そのほか時間のムダを省いたり、冷暖房完備の中で清新な料理も喜ばれている。挙式の次第は館長が司会し、神官が祭主となり神式で行われる。森厳にして和気あいあいの情景は新カップルへの何にもまさる贈りものに違いない。▼市民会館では「会館結婚式のしおり」を作って希望者に配布している詳細はそれに譲るとして、一体だれのための結婚式かをもう一度考えて新生活の問題にしてほしいものだ。喜びも悲しみも幾年月を誓いあう結婚式はぜひ市民会館で、との館長の弁をお伝えする。